

2学期 中間テスト(英語)

Class____ No.____ Name_____ 得点 /100

出題範囲:三人称単数現在・代名詞+1学期の復習(中1・2学期前半)	時間:45分	難易度:標準
-----------------------------------	--------	--------

このテストのストーリー 9月、姉妹校プログラムで、ロンドンの Emma(エマ)との交流が始まりました。自己紹介ビデオを見て、チャットで学校の毎日を伝え合い、10月の交流会を準備して、最初の自己紹介メールを書く――すべての問題が「Emmaにわたしの毎日を伝える英語」です。(物語は期末テスト=文化祭のオンライン中継に続きます)

※設計サンプル(ひな形)です。Word版で自校の範囲・固有名詞に差し替えて使えます。場面を思いうかべながら解こう。見直しの時間も忘れずに。

大問1 リスニング Emmaの自己紹介ビデオと、交流会準備の対話を聞いて答えよう。 知技・思判表 /20点

場面 姉妹校プログラムの相手、ロンドンのEmmaから自己紹介ビデオが届きました(Part A)。昼休み、あなたはMikiと交流会の相談をしています(Part B)。返信のネタ帳を作るつもりで、メモを取りながら聞きましょう。放送はそれぞれ2回流れます。

Part A Emmaからの自己紹介ビデオを聞いて、「Emmaメモ」の空らんを日本語で埋めよう。(各2点)

住んでいる都市	(①)	部活	(②)
毎週金曜にすること	(③)	日曜によくすること	(④)

⑤ メッセージの最後の「Emmaからの質問」に、英語1文で答えよう。(3点)

Part B 昼休み、あなたとMikiが交流会の相談をしています。2人の対話を聞いて答えよう。((1)～(3)各2点)

(1) Emmaの友だちのLucyが毎日していることは何ですか。日本語で。	()
(2) 交流会でEmmaたちに見せる場所はどこですか。 ア 音楽室 イ 美術室 ウ 図書室	()
(3) Mikiの好きな給食のメニューは何ですか。日本語で。	()
(4) この対話のあと、2人が放課後にしそうなことはどれですか。(3点) ア 音楽の先生に相談する イ 美術室のそうじをする ウ 給食の準備をする	()

大問2 文法・語い チャットとメモが成り立つように、()の英語を完成させよう。 知識・技能

/20点

場面 Emmaが学級の交流チャットにゲスト参加しました。おたがいの学校と身近な人の話です。

Emma: Hi! I'm Emma from London. Nice to meet you all!
You: Welcome! I(①)Yuki. I'm in the tennis club.
Emma: Hi, Yuki! My friend Lucy (② like) Japan.
You: Really? Please tell(③)about our school.
Emma: Sure!(④)your school have a pool?
You: Yes, it(⑤)! We swim in June and July.
Emma: Nice! My brother (⑥ play) soccer every day.
You: Cool! I want to meet(⑦)someday.
Emma: Ha-ha!(⑧)your friends like tennis, too?
You: Yes, they do! Tennis is fun.

※()内に語があるものは、その語を文に合う形に変えて書こう。ないものは1語で補おう。(各2点)

つづけて、交流係ノートのあなたのメモ(各2点):Emma (⑨ live) in London. / She (⑩ have) a cat and two birds.

①		②		③	
④		⑤		⑥	
⑦		⑧		⑨	
⑩					

大問3 場面のやり取り オンライン顔合わせ会でのEmmaとのやり取り。それぞれの場面に合う英語はどれ？ 思・判・表

/10点

場面 交流会の前に、Emmaのクラスと短い顔合わせ会をしました。画面ごしのやり取りです。
場面に合う英語を選ぼう。(各2点)

(1) オンライン顔合わせ会。Emmaが Nice to meet you! と言いました。返すなら？ ア I meet you every day. イ Nice to meet you, too! ウ Goodbye.	()
(2) となりの友だちを「こちらはケン。サッカーをします」と紹介するなら？ ア I am Ken. イ He play soccer. ウ This is Ken. He plays soccer.	()
(3) Emmaの英語が速くて聞き取れません。ゆっくり話してとお願いするなら？ ア Could you speak slowly, please? イ You speak fast. Stop. ウ I speak slowly.	()
(4) 10月の交流会に「ぜひ参加してね」と誘うなら？ ア Please join our Meeting Day in October! イ Festivals are fun. ウ It is over now.	()
(5) 会の終わりに「また来週話そう」と締めくくるなら？ ア See you every day. イ I talk to you now. ウ Let's talk again next week!	()

2学期 中間テスト(英語)(つづき)

Class____ No.____ Name_____

大問4 資料の読み取り 姉妹校の紹介シートと交流会のお知らせを読んで、Emmaの「見たい」に応えよう。

知技・思判表

／20点

場面 姉妹校の紹介シートと、10月の交流会のお知らせがあります。Emmaからは希望のメッセージが届いています。

GREENHILL SCHOOL (London)	ONLINE MEETING DAY
Our school day: School starts at 9:00. Students bring lunch boxes. Art club meets on Fridays. Emma’s class has 28 students.	Date: Oct. 10 (Fri), 4:00–5:00 p.m. (Japan time) Program 1: School Lunch Tour Program 2: Club Activity Tour Sign up: by Oct. 3, to Mr. Sato

Emmaのメッセージ ”I want to see your school lunch! We bring lunch boxes in London. And my friend Lucy loves art. She draws every day.”

(1) 2枚の資料から読み取ろう。(各2点) ① ロンドンの学校が始まる時こくは？	(:)	② Emmaのクラスの人数は？	()人
③ 交流会の日にちは10月何日？	10月() 日	④ 申し込みの締め切りは？	10月() 日

(2) 「給食が見たい」というEmmaの希望に合うプログラムはどちらですか。(番号2点)	()
そう考えた理由を、Emmaのメッセージと、お知らせの内容の両方にふれて日本語で書こう。(3点)	
(3) 「絵が大好き」という友だちのLucyには、どのプログラムのどんな内容をすすめられますか。日本語で書こう。(3点)	
(4) (3)の内容を、交流会で使う英語1文にしよう。(4点)	

2学期 中間テスト(英語)(つづき)

Class____ No.____ Name_____

大問5 読解 2学期前半に学習した教科書の文章を、もう一度読んで答えよう。 知技・思判表 /20点

場面 Emmaに「教科書でどんな話を読んでいるの?」と聞かれました。内容を思い出しながら読み直します。

▼ 本文貼り付け枠(Word版で、2学期前半に学習した教科書の本文・対話文をここに貼り付け)

問1 この文章に合うタイトルを選ぼう(選択肢は本文に合わせて先生が作成)(3点)	()
問2 本文の内容と合っていれば○、ちがっていれば×を書こう。①～④(各2点)	①()②() ③()④()
問3 下線部の語の意味を、前後の文から推測して選ぼう(3点)	()
問4 下線部について、理由や気持ちを、本文の言葉を手がかりに日本語で説明しよう。(3点)	
問5 本文のテーマについて、あなた自身のことを英語1文で書こう。(3点)	

大問6 ライティング Emmaに最初の自己紹介メールを書こう。テーマは「わたしと、わたしのだいじな人」。 知技・思判表 /10点

場面 Emmaへの最初の自己紹介メールを書きます。テーマは「わたしと、わたしのだいじな人」。自分のことと、家族や友だちのことを伝えて、交流の第一歩にしましょう。

条件 ①あいさつと自分の名前 ②自分のこと(好きなもの・部活など)を1つ以上 ③家族か友だちを1人しようかい(その人がすることを1つ以上) ④メールの最後に、Emmaへの質問を1文

25語以上の英語で。Emmaが「返事を書きたい!」と思えるように書こう。

評価の目安(10点)	内容(条件を満たし、Emmaに伝わるか)…6点 + 英語(語数と正確さ)…4点

書き終わったら見直しチェック ☐ 大文字・小文字(文頭・I・名前) ☐ 文末のピリオド／? ☐ 動詞の形(彼・彼女が主語なら-s／DoとDoesの使い分け) ☐ 読む相手(Emma)に伝わる内容か

1 テスト設計表(何を・どの場面で・どの観点で測るか)

作問はこの表から始めます。大問を作ってから観点を後づけするのではなく、測りたい力に場面を与えるのが順序です。観点の配点バランスは 知識・技能 56点／思考・判断・表現 44点(中1は基礎期のため知技をやや厚く。学年進行の設計は使い方ガイド参照)。

大問	場面・課題	測る力	観点	配点
大問1	姉妹校の生徒の自己紹介ビデオと、交流会準備の対話を聞き、メモの整理と行動の予測をする	習慣・日常の聞き取り(知技)／状況からの判断・聞いて自分のことを書く(思判表)	知技・思判表	20(2点×7・3点×2)
大問2	姉妹校の生徒との交流チャット・メモが成り立つように語形を判断する	文脈の中で 三単現(-s・does)・代名詞(him/her)を正しく使う+1学期の復習(進行形・過去形は範囲外＝期末で扱う)	知技	20(2点×10)
大問3	オンライン顔合わせ会の場面(あいさつ・紹介・聞き返し・誘い・別れ)で適切な応答を選ぶ	目的や場面、状況に応じて表現を選択する	思判表	10(2点×5)
大問4	姉妹校の紹介シートと交流会のお知らせを読み、相手の希望に合うプログラムを選んで伝える	資料の読み取り(知技)／情報を結びつけて判断し、英語で伝える(思判表)	知技・思判表	20(2点×5・3点×2・4点×1)
大問5	教科書本文(貼り付け枠)を「要旨→事実→語句推測→推論→自分」の5層で読む	概要・要点の把握、語句推測(知技)／本文をふまえて表現する(思判表)	知技・思判表	20(2点×4・3点×4)
大問6	姉妹校の生徒への最初の自己紹介メール(自分と身近な人)を書く	条件に沿って、読み手を意識して自分と身近な人のことを書く(評価規準・評価基準は次ページ)	知技・思判表	10(知技4・思判表6)

2 リスニング台本(2回読み・自然な速さで)

(2sec)(3sec)はポーズの秒数です。ALTに依頼する場合はこの台本をそのまま渡せます。

Part A(Emmaからの自己紹介ビデオ)
Hello! I'm Emma. I'm thirteen years old. (2sec)
I live in London with my family. (2sec)
I'm in the art club. I draw pictures every Friday. (3sec)
My brother plays soccer, so I usually watch his games on Sundays. (3sec)
Now, here is my question. What do you do after school? (3sec)
Tell me in your mail. Bye!

Part B(昼休み、あなたとMikiの相談)
Miki: Emma's video is nice! She likes art, right? (2sec)
You: Yes. And her friend Lucy draws pictures every day. (2sec)
Miki: Then let's show them our art room on Meeting Day. (2sec)
You: Good idea! Emma wants to see our school lunch, too. (2sec)
Miki: OK. Program 1 is the lunch tour. I like curry and rice! (3sec)
You: Me too! Oh, Emma wants a Japanese song at the meeting. (2sec)
Miki: A song? Our class sings "Furusato" in music class. (2sec)
You: Perfect. Let's ask our music teacher after school. (2sec)
Miki: Yes, let's!

3 解答例・許容範囲

大問1	A:①ロンドン ②美術部 ③絵を描く ④兄のサッカーの試合を見る ⑤例:I play tennis after school.(内容自由。発展は2文目にEmmaへの質問があれば満点) B:(1) 絵を描く (2) イ (3) カレーライス (4) ア
大問2	① am ② likes ③ her ④ Does ⑤ does ⑥ plays ⑦ him ⑧ Do ⑨ lives ⑩ has ※②⑥⑨⑩は三単現の-s、④⑤⑧はDo/Does(疑問と応答)、③⑦は代名詞の目的格。①はbe動詞(1学期の維持)。許容解は採点前にそろえる。
大問3	基礎・標準版:(1) イ (2) ウ (3) ア (4) ア (5) ウ / 発展版(4問):(1) イ (2) ウ (3) ア (4) ア
大問4	(1) ①9:00 ②28人 ③10日 ④3日 (2) 1 / 理由:Emmaは「給食が見たい」+プログラム1は給食ツアー(両方への言及で満点、片方は部分点2点) (3) プログラム2で美術部の活動が見られるとすすめる(発展は前半・後半で両方に参加する等の両立プランで満点) (4) 例: You can see our school lunch in Program 1!(資料の情報を使った1文なら可。英文=2+情報=2)
大問5	貼り付けた本文に合わせて作成。問1の誤答は要旨とずれる同話題タイトルを2つ。問2の×文は本文と1か所だけ変える。問3は未習語を下線に。問4は手がかり語を決めて採点。

4 ライティングの評価規準・評価基準(作問時に確定＝採点のブレを防ぐ)

評価規準(のりじゅん)＝「おおむね満足できる」状況(B)を文章で決めたもの。評価基準(もとじゅん)＝a/b/cの段階と点数の物差し。国立教育政策研究所の参考資料の様式に合わせ、作問時にこの2つを確定してから出題します(採点のブレを防ぐ＝信頼性)。

評価規準(B)	初めて交流する相手に自分と身近な人を知らせる目的に応じて、条件(自分のこと・人の紹介など)を含むメールを、意味の伝わる英文で書いている。	
	思考・判断・表現(内容の適切さ)…6点	知識・技能(語数・正確さ)…4点
a	条件をすべて満たし、読み手(Emma)が返事を書きなくなる工夫がある …6点	指定の語数を満たし、誤りがほとんどない …4点
b	条件をすべて満たしている …4点	誤りが一部あるが、理解に支障はない …3点
c	条件の一部を満たしていない …2点	語数不足、または支障のある誤りがある(伝えようとはしている) …1～2点

・「主体的に学習に取り組む態度」は点数化せず思判表と一体的に見る(国研の立場)。・言語材料は指定しない(「人を1人紹介」の内容条件が三単現を促す)。・He play 型(-s落ち)は三単現を使おうとした試みとして部分評価し、返却時に指導。

5 自校仕様へのカスタマイズ(Word版)

固有名詞	Emma を自校の交流相手／ALTの母校の設定に、Miki をなじむ名前に、交流会を自校の行事に(問いの型は変えない)。
範囲の調整	現在進行形・過去形は本版に出ない(期末版で「文化祭の中継」の文法として初登場)。代名詞が未習なら大問2の③⑦をDo/Doesの空所に、疑問詞が既習なら⑧をWhen等に差し替え可。
大問5の本文	2学期前半の本文・対話文を貼り付け、問1のタイトル選択肢(正解1+ずれる誤答2)、問2の○×文、問3の下線語を作る。
リスニング	Premium音声(英検方式の全英語進行・各2回読み・解答ポーズ入り)をそのまま再生して実施できる。自前で実施する場合は台本をALTに渡して録音、またはその場で読む(各2回)。目安:リスニング10分・大問2～5は25分・ライティング7分・見直し3分。
配点の調整	知技小問2点・思判表3点・応用4点・ライティング10点の刻みを保つと観点別の集計が簡単。中1は知技をやや厚く。